

## 株主総会に初参加 「事業売却 私もひとことでも社長に言いたい」 初参加 K氏の総会見たまま姿

私もひとこと言いたいと、株主総会に初めて参加しました。

社長に直接質問したいと、質問受付の最後まで手を上げ続けましたが、残念ながら指名されず発言できませんでした。社員株主のHさんが指名されて、冷静な口調ながら、社長にずばり、責任を問う質問をしたのがとても良かったです。会場も静かに聞き入っていました。しかし答えは、社長自らの責任には一切ふれず、「適法、適正」を繰り返すばかりでした。半導体部門の件についても、「他社とのアライアンスが必要」「ローム（社）と協議中」として、具体的な回答は一切得られませんでした。最後の質疑者を待っていたかのように会場が騒然となり、ただちに採決・賛成多数で可決となってしまいました。

中断している間、近くにいた株主の人が、「沖の株主総会は官僚的だ、昨日、日産の株主総会にも出てきたが、4000名の株主が集まり、自由に意見を述べて、ゴーン社長が全部受け答えしていた、沖とは全然違う、こんな会社の株を持っていてもしょうがない」などと私たち社員株主に話しかけてきました。

又、（社員株主の）Kさんが会場出口の所で、女性株主の人から、10分くらい呼び止められて、今後（沖電気の株を）どうすれば良いのか？・・・と相談を受けていました。

初めて参加した株主総会でしたが、しっかりとしたビジョンを示せない社長、経営陣のふがいなさを、まざまざと見せ付けられた株主総会でした。

しかし、私自身は（5月28日の分割発表以来八王子の従業員として）、この1ヶ月の間貴重な経験をさせてもらいました。3名の代理人を交えて事前協議で、会社と直接交渉ができた事です。

1回目は、3名の代理人がいかに今回の半導体部門売却の手口がひどい内容か、全容を明らかにするように鋭く会社にせまりました。

2回目は、（申し立てた）6名の当事者（八王子工場従業員）が、それぞれの思いを会社に伝えました。私は、社長に直接聞きたいとしながらも①なぜ新聞テレビ発表が先だったのか、②なぜ社長は八王子に来て皆の顔を見ながら直接説明ができないのか？社長は常日頃から、「フェイス TO フェイスが大事」と言いながら、自分は大事な時には逃げているのでは？③社長は沖の財産をあちこち切り売りしているだけではないか？沖の先輩達が築いて来られた「老舗の沖」を守る為に、どんな努力をされたのか？6000人といわれる半導体関係者、家族を含めると数万の人達がこれから先どうなるのか心配している事など協議の中で訴えました。

会社側からは「丁寧に対応させていただきます。」「10月1日になったからもう知らないというのではなく、ご相談には丁寧に応じさせていただきます。」「皆さんの不安を少しでも取り除く為に相談窓口を作らせていただきます。」と言う回答を得ました。

しかし10月1日以降どうなるのか？当面は引き継ぐとしているが、当面とはいつまでなのか、まだまだ、不透明な部分がたくさんあり、不安は残りますが、皆で力を合わせて、頑張っていきたいと思います。

